

明けましておめでとうございませす。市民の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

本市では、「学び、発見、実践、みんなで創るスマートシティ都留」をテーマとする、第5次長期総合計画を羅針盤に諸施策を推進しております。この長期総合計画は、本年3月を持って前期5年間の計画が終了することから、前期基本計画の取り組みに対する満足度や、今後の施策への「市民意識調査」を実施し、現在集計・分析及び各事業の検証等を行っております。今月からはパブリックコメントを実施し、2月からは市内7地域で「未来を拓く都留まちづくり会議」を開催し、広く市民の皆様から直接ご意見を伺いながら「スマートシティ（賢い都市）都留」の実現に向けた後期基本計画を策定してまいります。

我が国は、少子化と長寿化により「人口減少社会」と同時に「超高齢化社会」にも突入しており、一部の研究者からは「平成18年をピークにその後、年率平均0.7%減のスピードで進行し、約百年の間に日本の人口は半減する」との報告も出されております。本市においても人口減少の傾向は顕著であり、このような中

で持続可能な定常社会を維持していくためには、自然減少を超える人口減少は、地域の活性化に大きな影響を及ぼします。このため本年は「定住人口対策」を重要な課題として位置づけ、地域資源を掘り起こし、磨き上げるための様々な施策を展開し、住むことに誇りや愛着の持てる心の過疎を生まない地域づくりを進めてまいります。

また、健康と環境の持続性を大切にする市民のライフスタイルを確立するとともに、環境をテーマとした産業の振興に繋げることを目的にした「エコロジカル・バランスタウン」推進の1つとして、ウォーキングトレイル沿いの市役所周辺を中心に環境学習のためのフィールドを整備してまいりましたが、その核となる家中川小水力市民発電所「元気くん1号、2号」に加え、本年はその集大成とも言える「元気くん3号」の設置を予定いたしております。既に稼働している「家中川小水力市民発電所」、「エコハウス」、「植物栽培施設」、「城南創庫」に「ミュージアム都留」を加えたエリアの中で、質の高い環境学習と体験の機会を提供できる体制とその人材育成に努めてまいります。

更に、産業の活性化や安全で利便



性の高い市民生活を支える都市基盤として、長年に渡り市民が切望してまいりました中央自動車道都留インターチェンジのフルインター化工事が今夏完了し、いよいよ供用が開始されると同時に、今春には念願の都留バイパスが玉川地区から更に東側に延伸し、古川渡地区の落合橋上流付近の国道139号線に接続される予定となっており、これらの道路ネットワークを最大限に活用した活力に溢れたまちづくりにも努めてまいります。

本年も多くの新たな諸施策を推進し、小さくともキラリと光る個性的で魅力的な、住んでよし・訪れて良しの都留づくりを実践してまいりますので、市民の皆様の一層の参加・協働をお願い申し上げます。

都留市長 小林義光